保証書つき

保管用

●本製品の機能を十分ご理解いただき、安全にご使用いただくために、
この取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
●この説明書は大切に保管し、必要なときお読みください。

PRINTED WITH SOY INK 天然植物油脂大豆油インキで印刷しています

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

01

安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠警告

● **下記の人がひとりで使用するときは、必ず周囲の人が注意・介護する**
(1)お年寄　(2)体の不自由な人　(3)お子様
事故や体調不良を起こすおそれがあります。

● **周囲に人がいたり、物がある場所では十分に注意する**
昇降時、いすがまわりの人に当たってけがをさせたり、すわっている人がまわりの物に当たってけがをするおそれがあります。
特に下降時は、座板の下に何もないことをご確認ください。

● **使用時は、必ず脚を取り付ける**
転倒し、けがをするおそれがあります。

禁　止

● **不安定な場所で使用しない**
転倒し、けがをするおそれがあります。

● **踏み台にしたり、肘掛けに座るなど、目的以外の使いかたをしない**
足をすべらせたり、いすが転倒し、けがをするおそれがあります。

● **許容荷重（100kg）以上の体重の人は使用しない**
いすが破損・故障し、けがをするおそれがあります。

● **ひざに座らせたり等、ふたり以上で座らない**
転倒したり、いすから落ちるなど、けがをするおそれがあります。

● **座板下降時、座板の下に足などを入れない**
座板と脚や床の間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

● **座板の端に座らない**
座板からすべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。

● **ベルト掛け金具をはずしたまま使用しない**
いすが破損し、けがをするおそれがあります。

● **いすに飛び乗ったり、故意に勢いをつけて座ったりしない**
いすが破損・転倒し、けがをするおそれがあります。

● **お子様を本体の上で遊ばせたり、背もたれや肘掛けの上に乗ったり座ったりさせない**
いすから落ちたり、いすが転倒し、けがをするおそれがあります。

● **いすを持ち上げて運ぶ際は、2人以上で行い、必要以上の衝撃を与えない**
いすが破損し、故障の原因となります。

分解禁止

● **分解・修理・改造は絶対にしない**
発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。

指に注意

● **昇降時や移動時、隙間（特に背もたれと本体の隙間）に指などを入れない**
指などをはさみ、けがをするおそれがあります。

● **肘掛け、座板の折り曲げ時、可動部分に指などを入れない**
指などをはさみ、けがをするおそれがあります。

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

■説明内容を無視し、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を、下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。

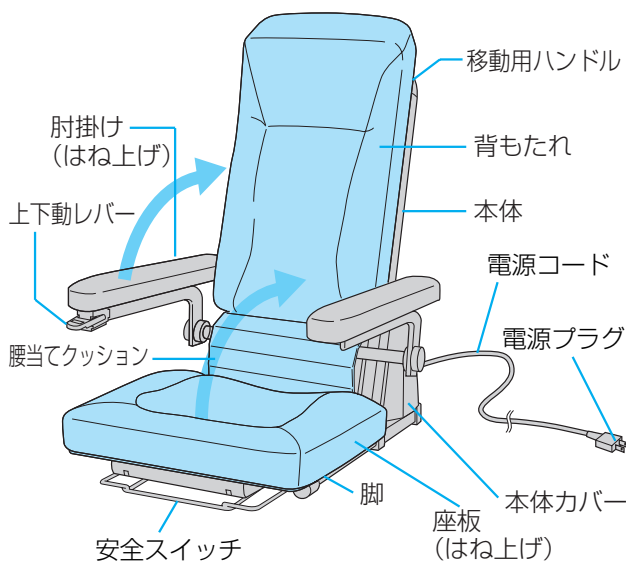
⚠ 警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

気をつけていただきたい **「注意喚起」** 内容を説明しています。	してはいけない **「禁止」** 内容を説明しています。	必ず実行していただく **「強制」** 内容を説明しています。

⚠ 注意

 禁　止	● **屋外や高温・多湿な場所で使用・保管しない** 感電および故障の原因になります。 ● **火気を近づけない** 発火のおそれがあります。 ● **人が座ったままいすを移動させない** 転倒・衝突などにより、けがをするおそれがあります。 ● **交流100V以外では使用しない** 火災や感電の原因になります。 ● **10分以上の連続運転はしない** 故障の原因になります。 ● **電源プラグにゴミ・水分を付着させない** 感電やショート、発火のおそれがあります。 ● **電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない** 火災や感電の原因になります。
	● **電源プラグは、確実に最後まで差し込む** ショートや発火のおそれがあります。 ● **濡れた手で電源プラグを持たない** 感電のおそれがあります。
電源プラグを抜く	● **動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグをコンセントから抜く** 感電や発火のおそれがあります。 ただちに点検修理を依頼してください。 ● **お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く** 感電ややけどのおそれがあります。 ● **使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く** 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。 ● **電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜く** 感電やショート、発火のおそれがあります。

各部のなまえとご使用前の準備

仕　様

サ　イ　ズ	630(幅)×890(奥行)×930(高さ)㎜
重　量	42kg
最大許容荷重	100kg
最大ストローク	410㎜
入　力　電　圧	AC100V　50/60Hz（コード長3m）
昇　降　速　度	20㎜/sec（電動上下昇降）
定格消費電力	MAX 290W
ヒ　ュ　ー　ズ	125V　5A
定　格　時　間	10分

品質表示

構　造　部　材	機構部：金属(鋼·アルミニウム合金) 背もたれ部：合板 肘掛け部：繊維板　座部：合板 脚部：金属(鋼)　カバー：ABS樹脂
表　面　加　工	金属部：メラミン樹脂塗装 ポリエステル塗装
張　り　材	合成皮革・ポリ塩化ビニル
クッション材	ウレタンフォーム

あなたの身長に合わせて 最高高さを調節する。

●調整式ベルトの掛け替えにより3段階の調節が可能です。

●掛け替え時は、ベルト掛け金具が、必ずフックに掛っているか確認してください。

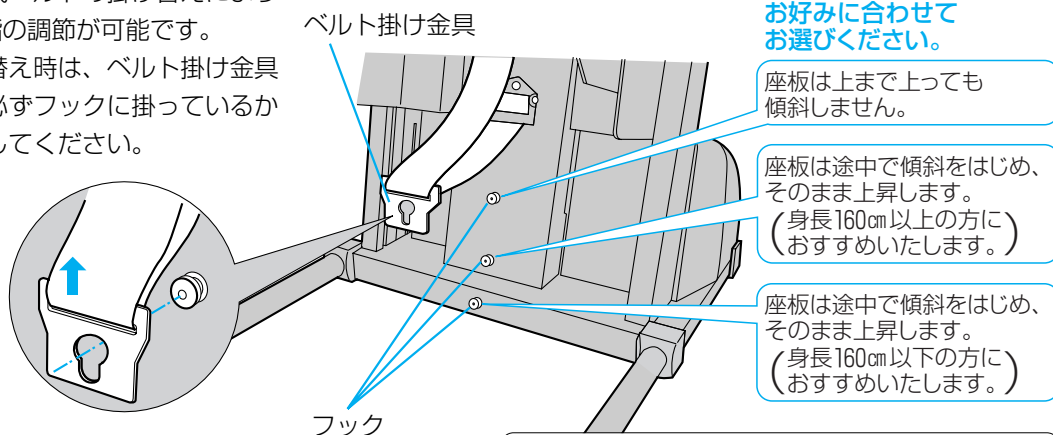
ベルト掛け金具

フック

お好みに合わせてお選びください。

座板は上まで上っても傾斜しません。

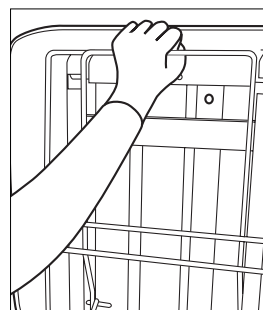
座板は途中で傾斜をはじめ、そのまま上昇します。（身長160㎝以上の方におすすめいたします。）

座板は途中で傾斜をはじめ、そのまま上昇します。（身長160㎝以下の方におすすめいたします。）

⚠警告

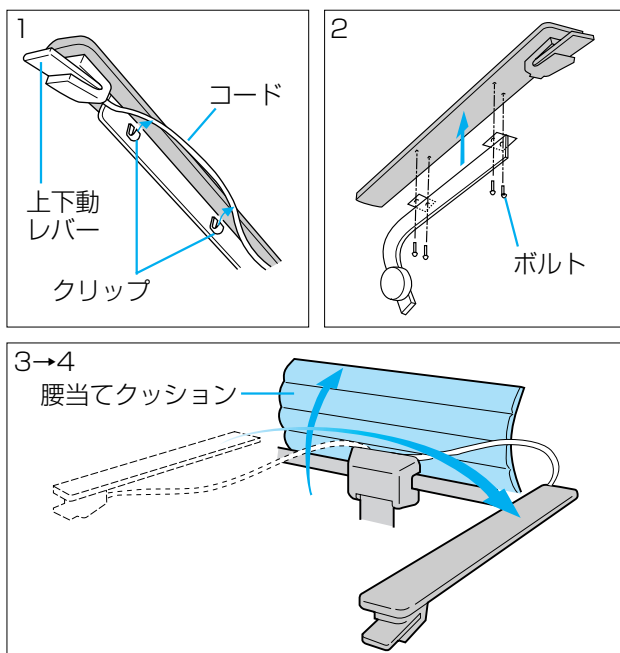
●ベルト掛け金具をはずしたまま使用しない
いすが破損し、けがをするおそれがあります。

●肘掛け、座板の折り曲げ時、可動部分に指などを入れない
指などをはさみ、けがをするおそれがあります。また、折り畳んだ肘掛け、座板の落下には注意してください。

お願い

はね上げた座板を元に戻す時は、座板裏の安全スイッチ用のバーは絶対に持たないでください。
バーが変形し、はさまれ防止の安全機構が働かなくなることがあり、けがをするおそれがあります。

上下動レバーの入れ替え

●上下動レバーは、通常は右手側の肘掛けにありますが、お好みにより左手側に付け替えることができます。

1. 右手側肘掛けのクリップ(3ヶ所)から、コードを抜きます。
2. 肘掛けを固定しているボルト(4本)を六角棒スパナ(対辺5)で取り外します。
   左手側肘掛けも同様に取り外してください。
3. 腰当てクッションの面ファスナーを座板から外し、上にめくります。
4. 右手側肘掛けと左手側肘掛けを入れ替えます。
5. 両方の肘掛けをボルト(8本)でしっかり固定します。
6. コードをクリップ(3ヶ所)に差し込みます。
7. 腰当てクッションの面ファスナーを座板に取り付けます。

こんなときは…

座板が上下しないとき

●電源プラグが抜けていませんか？

●下降しない　座板裏の安全スイッチが働いていませんか？

→座板の下に足や物などを入れないでください。

●座板がはね上がった状態になっていませんか？

→はね上がった状態では上下しないことがあります。

お手入れのしかた

●水または中性洗剤を含ませた柔らかい布で、軽く拭いてください。

●ベンジン・シンナー・ワックス・化学ぞうきんなどで拭いたり、たわしでこすったりしないでください。

●お茶やコーヒーなどをこぼしたときは、乾かないうちによく拭きとってください。

点検後、なお異常があったら

ただちに使用を中止し、事故防止のため、必ず販売店に点検・修理を依頼してください。

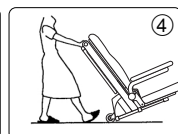
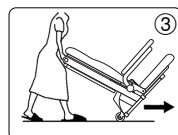
座板の動く速さが遅いとき

●周囲温度が低いときに使用した場合、座板の動く速さが遅くなることがありますが故障ではありません。座板に座らない状態で、1往復ほど昇降させれば、通常のスピードに戻ります。

移動するとき

①電源プラグをコンセントから抜いてください。
②移動用ハンドルを両手で持ち、本体カバーに足を掛けて、いすを手前にかたむけてください。
③車輪が床に接地したことを確認し、いすを前に移動させてください。
④本体カバーに足を掛けながら、ゆっくりいすをおろしてください。

⚠注意 ●いすをかたむける、または床におろす時は、**本体カバーに“しっかり”足を掛ける。**
足やものがはさまれてけがをしたり破損するおそれがあります。

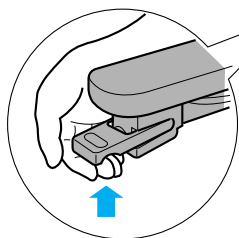
③

使いかた

電源コードを接続する。

●電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。

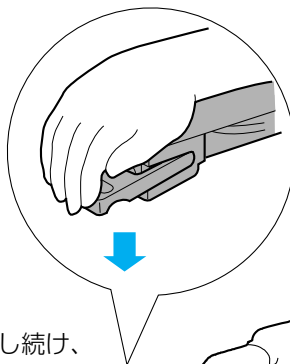
座る

1 上下動レバーを上へ引く。

●肘掛けの裏にある上下動レバーを上へ押し続け、
座板を座りやすい位置まで上げておきます。

2 腰をおろす。

●肘掛けに手をそえて静かに腰をおろします。
●足腰に負担をかけることなく座板に
腰をおろすことができます。

⚠警告

● **座板の端に座らない**
座板からすべり落ちたり転倒して、
けがをするおそれがあります。

3 上下動レバーを下へ押す。

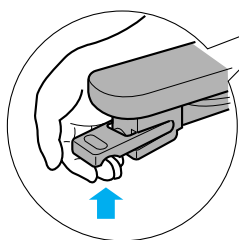
●肘掛けの裏にある上下動レバーを下へ押し続け、
（指を離せば止まります）座板をお好みの高さ
まで、おろしてください。
●座板は床面まで下がると自動的に止ります。

⚠注意

● **座板下降時、座板の下に足などを入れない**
座板と脚や床の間には
さまれて、けがをする
おそれがあります。

立　つ

1 上下動レバーを上へ引く。

●肘掛けの裏にある上下動レバーを上へ押し続けます。
途中で座板が傾いて、自然と立つ姿勢がつくれます。
※上昇時に座板が傾かない設定も可能です。
（4ページご参照）
納品時は、傾かない状態に設定しています。

2 腰を上げる。

●肘掛けに手をそえて静かに腰を上げます。

⚠ 警告

● **下記の人がひとりで使用するときは、必ず周囲の人が注意・介護する**
(1)お年寄　(2)体の不自由な人　(3)お子様
事故や体調不良を起こすおそれがあります。